

越婢加朮湯(えっぴかじゅつとう)という漢方薬

スギ花粉症でお悩みの方が多季節です。
1年おきにスギ花粉の飛散量が多く、
今年は例年の3-5倍以上と言われています。
通常ならば、抗アレルギー剤や漢方薬(例えば
小青竜湯)単品で十分に対応できていたのに、
今年は鼻づまりがひどい、眼も真赤、
顔が腫れ上がってしまったというケースが多い状況です。
こういう時は越婢加朮湯(えっぴかじゅつとう)を追加してみましょう。
麻黄(まおう)という生薬が入っていますから、鼻づまりが治り、
充血も軽快します。
ただし、調子が良い時は内服を中止するか、
1日1-2回程度に減量しておきます。
人によっては、胃がムカムカする、
心臓がドキドキするなどの麻黄に入っている、
エフェドリンの悪いところばかり目立ってしまいます。
内服を中止すれば困った症状は治ります。
上手に使って下さい。



参考) 越婢加朮湯(えっぴかじゅつとう)他の効能は？

- ・ 熱感を伴う関節炎
- ・ 関節リウマチ
- ・ 蚊による虫刺され
- ・ じんましん …など



風疹が流行しています

風疹ウイルスによる感染症です。
まず首の後ろのリンパ節が腫れて、その後に発熱、
発疹が認められます。
発熱は37℃-38℃前半位と、
それほど高熱になりません。
体に細かい淡紅色のブツブツができますが、
かゆみはありません。
重症化せずに治っていくことがほとんどですが、妊婦さんが
感染すると、おなかにいる赤ちゃんが「先天性風疹症候群」
という病気を持って生まれてくることがあります。
1才の時にうったワクチンの抗体はほとんどありません。
今からでも遅くはないので、ワクチンを接種しましょう。



お知らせ

小児夜間急病センター当番日

4月20日(土) 19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院

休診のお知らせ

4月5日(金)-8日(月)まで休診します。

4月20日(土)

学会出張のため、休診します

